

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和1年11月22日

## 【事業所概要(事業所記入)】

|         |                                       |
|---------|---------------------------------------|
| 事業所番号   | 4670900184                            |
| 法人名     | 有限会社 めぐみ福祉会                           |
| 事業所名    | グループホーム大口めぐみの里                        |
| 所在地     | 鹿児島県伊佐市大口曾木480番地<br>(電話) 0995-25-2323 |
| 自己評価作成日 | 令和元年10月25日                            |

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

|             |   |
|-------------|---|
| 基本情報リンク先URL | <a href="http://www.wam.go.jp/">http://www.wam.go.jp/</a> |
|-------------|---|

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

|       |                     |
|-------|---------------------|
| 評価機関名 | 特定非営利活動法人NPOさつま     |
| 所在地   | 鹿児島市新屋敷町16番A棟3F302号 |
| 訪問調査日 | 令和1年11月14日          |

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

1. 家庭的な環境と地域との交流を大切にしながら、やすらぎと憩いの場を提供します。
2. 個人の尊厳を失うことなく自立を手助けします。
3. 満足と生きがいを持っていただける様努めます。
4. 職員一人一人が認知症ケアについて日々学びの姿勢を忘れず、研修にも積極的に参加し、ケアに活かしています。
5. 毎朝朝礼で『介護理念』を唱和し理念に基づいた介護に取り組んでいます。
6. 利用者の居室、共用の場所、園内すべての空間の清掃、環境整備に努めています。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

ホームの介護理念を毎日唱和することで意識付けを図るほか、ホームの介護理念を基に毎月の理念と当日の理念も立てるなど、より具体的な接遇や支援が提供できるよう努めている。また、リビングや廊下の目に付きやすいところに「運営方針」や「介護の原則」、「身体拘束排除宣言」等が掲示されている。

ホームは河川が近くを流れ、過去に周辺が水害に見舞われたこともあるため、地域住民の災害への意識は高く、ホームの災害訓練に地域住民の参加が得られている。運営推進委員会のメンバーに警察官や消防団員、河川の氾濫に詳しい近隣住民の参加が得られ、ハザードマップや避難経路の確認等、話し合う機会は多く、また、各ユニットに布製の簡易担架を準備するなど万々に備えている。

権利擁護や身体拘束に関する研修会を年4回実施すると共に、毎月の職員会議で見守りの徹底や行動を制限させない声かけを意識するよう話し合っている。また、管理者は、利用者や家族に対して、日頃から尊厳を持って接する必要があると考えているため、積極的に研修会に参加したり、意見交換する機会を設けている。

入浴日を設けているが、入浴やシャワー浴、足浴等の希望がある時は、いつでも対応できるほか、羞恥心に配慮して同性介助への対応も適宜行うことができる。また、入浴後は牛乳やスポーツドリンク、コーヒー牛乳やジュース等を準備しており、個人で乳酸飲料を購入している利用者もおり、入浴後の楽しみとなっている。

| 自己評価               | 外部評価 | 項目  | 自己評価   | 外部評価  |                   |
|--------------------|------|---|--|---|-------------------|
|                    |      |   | 実施状況   | 実施状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| <b>I. 理念に基づく運営</b> |      |   |  |   |                   |
| 1                  | 1    | ○理念の共有と実践<br>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている                       | 毎朝の朝礼で介護理念を唱和し、毎日その日の目標を掲げ理念をケアに反映できる様心がけている。  | 職員会議で話し合っ決めて理念を玄関とホールに掲示し、毎日唱和することで意識付けを図っている。特に「やさしく、おだやかに」という文言を大切に考え、日々の支援につなげている。                                 |                   |
| 2                  | 2    | ○事業所と地域とのつきあい<br>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人員として日常的に交流している                     | 自治会に加入しており、職員が自治会の草払いに参加したり、敬老会などのイベントには近隣の方をお招きして、地域とのつながりを大切にしている。また年に1度地元小学生の訪問があり、運動会やレクリエーションを通じて交流を深めている。                  | 自治会の敬老会に参加したり、ホームの敬老会に地域住民に参加してもらうなど相互に交流している。また、ホーム主催の運動会に小学生を招いたり、高校の職業訓練を受け入れるなど、教育機関とも密に連携を図り積極的に交流している。          |                   |
| 3                  |      | ○事業所の力を生かした地域貢献<br>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている                    | 近隣地域の方が介護についての悩みや質問に来られる事があり、相談に応じている。   |   |                   |
| 4                  | 3    | ○運営推進会議を活かした取り組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 2か月に1回運営推進会議を開催しており、ご家族、市職員、自治会、消防団、警察官など様々な職種のメンバーで構成され、事業所の取り組みや行事報告を行っている。実際に利用者様と同じ食事を食べていただき意見や感想を出してもらいながら、サービスの向上に活かしている。 | 会議には家族や自治会長、警察官や消防団員等、多数参加しており、ホームの活動内容の報告や今後の取り組みへの要望や意見交換を行っている。ホームは河川に近く、過去に水害に見舞われていることもあり、水害対策について意見交換することが多くある。 |                   |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目  | 自己評価   | 外部評価  |                   |
|------|------|---|--|---|-------------------|
|      |      |   | 実施状況   | 実施状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 5    | 4    | ○市町村との連携<br>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる   | 市職員に運営推進会議のメンバーに加入して頂き、事業所の特性や実情を知ってもらいアドバイスをいただいている。制度上不明な点も電話などで相談したり連携を図っている。                     | 行政職員とは運営推進会議で意見を交換したり、相談事や介護認定更新の際に面談している。また「地域密着型サービス連絡協議会」や「伊佐市医療介護連携会議」に加入し、研修会等で意見交換を行うなど、日頃より協力関係を築いている。   |                   |
| 6    | 5    | ○身体拘束をしないケアの実践<br>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 身体拘束についての外部研修に参加し、内部研修にて学びを共有している。身体拘束を行わないためにはどのようなケア、接し方をすればよいかミーティング等で話しあいながら身体拘束を行わないケアに取り組んでいる。 | 身体拘束や虐待、権利擁護等の研修会を年4回開催し、毎月の職員会議でも話し合い、意見交換している。拘束のない自由な暮らしが送れるよう、接遇や言葉かけ等、関わり方に気を配り支援している。特に言葉による拘束については、職員会議で繰り返し話し合い、期待に沿えない声かけをしないよう、言葉を選び話しかけるようにしている。 |                   |
| 7    |      | ○虐待の防止の徹底<br>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている                                      | 外部研修や内部研修で虐待についての学びを深め、実際に不適切なケアについて職員間で話し合ったり、確認をとりながら虐待をお互いに見逃さないよう努めている。                          |   |                   |
| 8    |      | ○権利擁護に関する制度の理解と活用<br>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している                                 | 今年度は権利擁護に関してテーマを決め、利用者様への言葉かけや対応などを学んだり、話し合ったりしてきた。  |   |                   |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目  | 自己評価  | 外部評価  |                   |
|------|------|---|---|---|-------------------|
|      |      |   | 実施状況  | 実施状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 9    |      | ○契約に関する説明と納得<br><br>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている                     | 入所前や契約時に本人様、家族に疑問点や不安な事をお聞きし事業所として出来る事、出来ない事を説明して十分に理解、納得して頂いてから契約を行っている。     |   |                   |
| 10   | 6    | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映<br><br>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている                 | 利用者様との日々の会話の中で意見や要望を出しやすい雰囲気作りを行っている。またご家族にも面会時や家族会等で気軽に意見を出してもらえよう声掛けを行っている。 | これまでの生活環境に近い形で過ごしてもらえよう、本人や家族から意見や要望を尋ね、支援につなげている。本人からは、日々の会話や様子から意見を汲み取り、家族からは家族会や面会時等に意見を求めるようにしている。また、請求書送付時にコメントを記入したり、写真を同封することで意見をもらい、日々の支援や運営に反映させている。 |                   |
| 11   | 7    | ○運営に関する職員意見の反映<br><br>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている                                 | 月に1回行われているミーティング施設長、事務長、管理者が出席し、職員からの備品の購入や行事などの開催について意見があり、運営に反映させている。       | 物品の購入や修理等について、日常的に職員は管理者に意見や要望を自由に伝えることができている。例えば、浴室の手すりの取り付けや滑り止めの設置等、状況に応じて速やかに対応するなど、利用者の安全の確保や生活意欲の向上に前向きに検討し対応している。                                      |                   |
| 12   |      | ○就業環境の整備<br><br>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている | 家庭と仕事の両立が出来るように希望休制度を取り入れており、勤務表に反映させている。毎年基本給の見直しを行っており賃金アップや残業がほぼない職場環境にある。 |   |                   |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目   | 自己評価   | 外部評価 |                   |
|------|------|--|--|------|-------------------|
|      |      |  | 実施状況   | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 13   |      | <p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>          | <p>研修は主にミーティング時に開催時に行っており、管理者や外部研修に参加した職員が研修資料を基に報告発表を行い学びを共有している。研修テーマは職員から意見が出ることもあり、希望や季節に応じたテーマを選んでいる。</p> |      |                   |
| 14   |      | <p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p> | <p>グループホーム協会に加入しており、職員交流のための研修会があり参加している。その中で親睦を深め情報交換を行いながらサービスの向上に努めている。</p>                                 |      |                   |

| 自己評価                       | 外部評価 | 項目   | 自己評価   | 外部評価 |                   |
|----------------------------|------|--|--|------|-------------------|
|                            |      |  | 実施状況   | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| <b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b> |      |  |  |      |                   |
| 15                         |      | <p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p> | <p>入所時に利用者が自分の言葉で要望や不安な事を出せるように、ゆっくりと穏やかに話を聞きコミュニケーションをとっている。</p>                                      |      |                   |
| 16                         |      | <p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>            | <p>ご家族とも施設見学時や初回相談時に面談を行い、悩み事やグループホームでの生活に対する希望を聞き取り、事業所として対応できるかをご家族と話し合いながら安心して入所につなげられるよう努めている。</p> |      |                   |
| 17                         |      | <p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>        | <p>前任ケアマネージャーや家族、主治医より情報をもらい、何が必要か、どのようなリスクがあるかをミーティングで話しあい対応を検討するよう努めている。</p>                         |      |                   |
| 18                         |      | <p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>                           | <p>同じテーブルを囲み食事をしたり、利用者の得意な事を職員が教えてもらったりして、お互いがイキイキとした生活が送れるような環境づくりを行っている。</p>                         |      |                   |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目   | 自己評価   | 外部評価  |                   |
|------|------|--|--|---|-------------------|
|      |      |  | 実施状況   | 実施状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 19   |      | ○本人と共に支え合う家族との関係<br>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている         | ご家族が面会に来られた際にはグループホームでの生活の様子や、ぬり絵や制作物を見ていただくなどしている。また遠方で面会が困難なご家族のために月1回お手紙で近況報告を行っている。  |   |                   |
| 20   | 8    | ○馴染みの人や場との関係継続の支援<br>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている                     | 親戚や友人の方の面会があった際は本人様が喜ばれていたのもたいたでもいらしてくださいと声掛けを行い、面会がなじみの人達とのつながりを継続できる良い機会となる様に支援を行っている。 | ホームの電話を自由に使ってもらったり、個人の携帯電話から、友人や知人、家族に連絡を取り、遊びに来てもらっている。自宅に帰りたい、という希望がある際は積極的に出かけるようにしており、本人に自宅までの道順を尋ねたり、思い出を確認するなど大切な時間を過ごしている。 |                   |
| 21   |      | ○利用者同士の関係の支援<br>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている                 | 座席の配置や、楽しく会話ができる話題の提供など職員が利用者間の関係性をしっかりと把握しており、共同生活を営む上で必要な関係を構築することが出来ている。              |   |                   |
| 22   |      | ○関係を断ち切らない取り組み<br>サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | サービスが終了してからも施設の行事に参加して下さったり、ご家族が自宅で摂れた野菜などを持ってきてくださったりと交流がある。                            |   |                   |

| 自己評価                               | 外部評価 | 項目   | 自己評価  | 外部評価   |                   |
|------------------------------------|------|--|---|--|-------------------|
|                                    |      |  | 実施状況  | 実施状況   | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| <b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b> |      |  |   |  |                   |
| 23                                 | 9    | ○思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している   | 毎日の会話の中で、利用者様がうれしい事、やりたい事、不安な事など様々な感情を職員が汲み取り、記録やミーティングで議題に出し生活に反映させたりできるよう心がけている。    | 日々の会話や様子観察を十分に行い思いの把握につなげている。把握した内容は職員間で共有し、趣味であった竹細工に取り組めるよう環境を整える等、個々の利用者が本人本位の生活を送ることができるよう支援している。  |                   |
| 24                                 |      | ○これまでの暮らしの把握<br>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている                                       | 本人様やご家族からこれまでの生活歴、趣味、嗜好を聞き取りながらグループホームでも可能な限りその要素を取り入れられるよう支援している。                    |  |                   |
| 25                                 |      | ○暮らしの現状の把握<br>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている   | 新聞、読書、テレビを見る、散歩に行く、ゆっくり休むなど、一人一人に合った過ごし方を支援している。                                      |  |                   |
| 26                                 | 10   | ○チームでつくる介護計画とモニタリング<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | 日々のかかわりの中で、利用者様や家族から出た思いや言葉を大切にしてい、望む暮らしに近づけられるよう主治医の意見やミーティングでアイデアを出し合い介護計画へ反映させている。 | 利用者や家族の思いを基に、日頃の様子観察を十分に行い、毎月の職員会議で利用者全員の状態について話し合い確認すると共に、主治医からも受診時に口頭で確認をとり、照会するなどして意見を聞き取り介護計画に反映させている。管理者が看護師のため、健康面に関することも丁寧に計画に盛り込まれている。 |                   |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目   | 自己評価  | 外部評価   |                   |
|------|------|--|---|--|-------------------|
|      |      |  | 実施状況  | 実施状況   | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 27   |      | ○個別の記録と実践への反映<br><br>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている          | 日勤帯から夜勤帯まで個別記録へ言動や行動を記載し、職員間で情報が共有できるようにしている。その記録を基に計画の評価、見直しを行っている。                      |  |                   |
| 28   |      | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化<br><br>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる | 希望に応じて家族との外出や外泊などが行えるように支援している。体調不良時は受診の付き添いを行ったり、自宅を見てみたいという方のためにドライブがてら自宅まで連れて行ったりしている。 |  |                   |
| 29   |      | ○地域資源との協働<br><br>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している          | 地元ボランティアによるハーモニカや踊りなどの慰問活動を受け入れ、生活の中に楽しみや刺激が持てるよう協力を頂いている。                                |  |                   |
| 30   | 11   | ○かかりつけ医の受診支援<br><br>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している      | 主治医は本人様や家族が決定し、グループホームでの状態を受診時に報告し支援体制を整えている。また、夜間や急変時等も主治医や協力医の指示が受けられるようになっている。         | 入居後も本人や家族の希望するかかりつけ医を受診しており、往診を受けている利用者もいる。協力医療機関とは24時間連絡が取れる体制が整えられているため安心につながっている。受診後は受診記録にまとめ職員間で情報を共有している。 |                   |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目   | 自己評価  | 外部評価   |                   |
|------|------|--|---|--|-------------------|
|      |      |  | 実施状況  | 実施状況   | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 31   |      | ○看護職員との協働<br>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している                      | 常勤看護師を配置しており、介護職員は急変時や異常を感じた時は速やかに看護師へ状態報告し、必要時はすぐに受診が行えるよう努めている。                                 |  |                   |
| 32   |      | ○入退院時の医療機関との協働<br>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている | 入院時には基本情報に加え、既往歴やADLの状態等の情報を病院へ速やかに提供し、適切な治療を受けられるよう支援している。                                       |  |                   |
| 33   | 12   | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援<br>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる | 入所時に見取りや、心身状態の重度化についての説明を行っている。本人様やご家族の意向を大切に主治医と相談しながら、可能な限りグループホームでの生活が送れる様職員が一丸となって取り組んでいる。    | 入居時に「看取りについての指針」や「緊急時の対応希望書」を説明し、同意を得ており、入居後も状態に変化がみられた際に、再度説明し確認している。本人や家族の思いに変化が生じた際は、改めて同意署名をもらうなど、繰り返し確認するようにしている。これまでに看取りの経験があり、今後も主治医や関係者全員で連携をはかりながら支援していきたいと考えている。 |                   |
| 34   |      | ○急変や事故発生時の備え<br>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている  | 急変や事故に備えマニュアルが作成しており、緊急時に職員が落ち着いて対応できる様施設内の目につきやすい場所に掲示してある。事故発生時の初期対応は職員全員が対応できるように年に数回訓練を行っている。 |  |                   |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目  | 自己評価  | 外部評価  |                   |
|------|------|---|---|---|-------------------|
|      |      |   | 実施状況  | 実施状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 35   | 13   | <p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p> | <p>火災、水害を想定した避難訓練を各年2回行っている。水害の避難訓練は実際に避難場所まで避難し、坂道や段差など気を付けるべき点を確認している。また消防団や地域の方に協力をもたせる体制を整えている。</p> | <p>河川に近く、過去に水害を経験していること、地域の水害に詳しい住民の助言をもらいながら災害訓練を実施している。また、緊急通報装置の連絡先として、10名程の近隣住民の名前を登録するなど協力体制を整えている。ウォーターサーバーのタンクや食料等の備蓄も十分確保されている。</p> |                   |

| 自己評価                             | 外部評価 | 項目   | 自己評価   | 外部評価   |                   |
|----------------------------------|------|--|--|--|-------------------|
|                                  |      |  | 実施状況   | 実施状況   | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| <b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b> |      |  |  |  |                   |
| 36                               | 14   | ○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保<br><br>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている                | 利用者様の尊厳については呼び方、話すときに目線を合わせる、言葉使いなどに十分配慮するという事を職員間で約束事としている。排泄や入浴時にはプライバシーに配慮した対応をとっている。 | 入浴や排泄のことはもちろんのこと、家族のことを聞かれたくない利用者もいるため、居室で尋ねるなど気を配っている。トイレに誘う際は、さり気なく声をかけたり、ポータブルトイレを使わない時はカバーをかけて目隠しするなど、外部者の目に付かない工夫もしている。 |                   |
| 37                               |      | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援<br><br>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている                     | 難聴の方には筆談をするなど、利用者に応じて対応を工夫し自分の思いや自己決定がしやすいよう心がけている。                                      |  |                   |
| 38                               |      | ○日々のその人らしい暮らし<br><br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 基本的な一日の流れはあるが、利用者様の体調や気分に応じて、休息やテレビ、歌や散歩等をご自分のペースで行えるよう支援している。                           |  |                   |
| 39                               |      | ○身だしなみやおしゃれの支援<br><br>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している                                   | 本人様の希望される美容師に訪問散髪をしてもらったり、化粧品や整髪料など必要な品物の買い物を代行したりして支援を行っている。                            |  |                   |
| 40                               | 15   | ○食事を楽しむことのできる支援<br><br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている     | 職員と利用者が一緒にテーブルを囲み、楽しい雰囲気の中で食事が出来るよう配慮している。また、食欲を高めるために、どのような場面で食欲が湧くかを把握しケアに活かしている。      | 献立に食べたい物をリクエストしたり、ホットプレートでホットケーキを焼いたり、たこ焼きを作るなど楽しい時間を共有している。お米はホームで苗床を作り、野菜も自家製であるなど、食材にもこだわっている。                            |                   |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目   | 自己評価   | 外部評価   |                   |
|------|------|--|--|--|-------------------|
|      |      |  | 実施状況   | 実施状況   | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 41   |      | ○栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている        | アレルギー等に配慮しながら栄養バランスのとれた食事を専門の調理師が作り、本人様が好き嫌いで食べられない物を把握し代替品を準備するなどしている。                                    |  |                   |
| 42   |      | ○口腔内の清潔保持<br>口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている                | 食後は必ず口腔ケアを行うように利用者に声掛けを行っている。ご自分で口腔ケアが困難な場合は介助を行い口腔内の清潔が保たれるように支援している。                                     |  |                   |
| 43   | 16   | ○排泄の自立支援<br>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている | 日中はオムツを使用せずリハビリパンツや布パンツを使用し、排泄パターンを把握して時間ごとのトイレ誘導を行い気持ちの良い排泄が出来るよう支援している。                                  | 排泄チェック表を参考にしながら個々の排泄パターンを把握し、定期的にトイレに誘っている。おむつを外すことができないかを職員間で話し合い、状況に合わせた対応につなげている。毎朝、全員に清拭をすることで清潔を保ち、気持ちよく過ごしてもらえるよう支援している。 |                   |
| 44   |      | ○便秘の予防と対応<br>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる                 | 排便を促すために定期的に歩行を行う時間を設けている。また、十分な水分補給を行ったり、積極的に水分補給をされない方の好みに合わせヤクルト、牛乳、ポカリスエットなど飲んで頂き排便が促されるような取り組みも行っている。 |  |                   |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目  | 自己評価   | 外部評価   |                   |
|------|------|---|--|--|-------------------|
|      |      |   | 実施状況   | 実施状況   | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 45   | 17   | ○入浴を楽しむことができる支援<br><br>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している                        | 利用者様の体調や希望によって、入浴日や時間の変更を行っており、ゆっくりと入浴を楽しめるように支援している。  | 週2回程度（夏場は3回）の入浴を予定しているが、希望があればいつでも入浴は可能である。庭にゆずの木があるため、ゆず湯に利用しており、楽しみながら入浴している。重度化に伴い、安全に配慮し二人体制で入浴を支援している。  |                   |
| 46   |      | ○安眠や休息の支援<br><br>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している   | 利用者様の生活リズムや体調に合わせて日中でも仮眠をとって頂いたり、夜間もご自分のタイミングで就寝できる様支援している。また、夜間に心地よい睡眠がとれる様に日中の活動を活発に行う様支援している。 |  |                   |
| 47   |      | ○服薬支援<br><br>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている  | 薬の効能、副作用の説明書をファイルにて個別管理し、職員が分かりやすい様になっている。また薬は、個人ごとにボードに朝昼夜と分けて貼り付けており、誤薬が起らないように工夫をしている。        |  |                   |
| 48   |      | ○役割、楽しみごとの支援<br><br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている                               | 洗濯物をたたんで頂いたり、食台を拭いて頂いたり得意分野で一人一人の力を発揮できる様、職員は普段から利用者様の言動に耳を傾け適性を把握するようにしている。                     |  |                   |
| 49   | 18   | ○日常的な外出支援<br><br>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | 自宅の近い利用者は、職員が運転をして、自宅やその方の家の田んぼを見に行ったりしている。また季節によってお花見やコスモス見学、紅葉狩りなど外出活動を行っている。                  | 初詣や雛祭り見学、桜見物や曾木の滝公園での紅葉狩りなど、季節の行事を年間行事計画を立て出かけるほか、個人の希望する外出先にも家族や職員が協力し合い出かけている。歩行の難しい方には車椅子を用い、また、同法人のデイサービスからリフト車を借りて出かけるなど、可能な限り出かけられる環境を作り支援するようにしている。 |                   |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目   | 自己評価   | 外部評価  |                   |
|------|------|--|--|---|-------------------|
|      |      |  | 実施状況   | 実施状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 50   |      | <p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>   | <p>ご家族の協力を得て少額のお金を持っている利用者もいる。直接的にお金を使える機会は移動パン屋くらいであるが、化粧品やヘアトニックなど指定のものを職員に購入を頼んでいる。</p>                                 |   |                   |
| 51   |      | <p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>   | <p>携帯電話を所持されている利用者もあり、ご家族や親せき、友人へ電話を掛けたり、年賀状や暑中見舞いなどのお便りを出して大切な方との関わりを持てるように支援している。</p>                                    |   |                   |
| 52   | 19   | <p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p> | <p>玄関周辺にはプランター植えの花が飾っており、利用者の憩いの場となっている。また、利用者がみんなで制作した作品を展示し楽しみや心地よい空間を提供している。毎朝の清掃では尿臭や便臭といった不快な臭いが感じられない様徹底して行っている。</p> | <p>玄関前にゴールデンキウイの木があるほか、敷地内にはぶどうやゆず等の果樹が多くあるため、利用者はキウイ狩りやぶどう狩りを楽しみにしている。玄関は広く、リビングも明るく開放的であるほか、屋根つきの中庭でくつろぐことができる。また、季節の作品や掲示物が楽しい雰囲気を感じさせる。廊下には布製の簡易担架が備えられている。</p> |                   |
| 53   |      | <p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>   | <p>共用スペースにはソファやベンチ、テーブルが配置しており、座席も気の合う方近くに座れる様配置してある。</p>  |   |                   |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目   | 自己評価  | 外部評価   |                   |
|------|------|--|---|--|-------------------|
|      |      |  | 実施状況  | 実施状況   | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 54   | 20   | <p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p> | <p>なじみの家具、仏壇、写真などその方にとって大切な品を自宅から持ち込んで頂き居室が居心地の良い場所になるよう支援している。</p>                                     | <p>介護用ベッドとタンス、エアコンが備え付けられており、テレビや位牌を持ち込み自由に過ごしてもらっている。冷蔵庫やこたつの持ち込みも可能であるなど、これまでの生活を変えない支援に努めている。</p> |                   |
| 55   |      | <p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>   | <p>グループホーム内はバリアフリー化され、段差の解消や転倒防止のための手すりが多数設置されている。また、ご自分の部屋が分からなくならない様に名札を貼ったり、目立ちやすい花や人形等を目印にしている。</p> |  |                   |

## V アウトカム項目

|    |   |   |               |
|----|---|---|---------------|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。<br>(参考項目：23, 24, 25)   | ○ | 1 ほぼ全ての利用者の   |
|    |   |   | 2 利用者の2/3くらいの |
|    |   |   | 3 利用者の1/3くらいの |
|    |   |   | 4 ほとんど掴んでいない  |
| 57 | 利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。<br>(参考項目：18, 38)           | ○ | 1 毎日ある        |
|    |   |   | 2 数日に1回程度ある   |
|    |   |   | 3 たまにある       |
|    |   |   | 4 ほとんどない      |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。<br>(参考項目：38)                 |   | 1 ほぼ全ての利用者が   |
|    |   | ○ | 2 利用者の2/3くらいが |
|    |   |   | 3 利用者の1/3くらいが |
|    |   |   | 4 ほとんどいない     |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。<br>(参考項目：36, 37) |   | 1 ほぼ全ての利用者が   |
|    |   | ○ | 2 利用者の2/3くらいが |
|    |   |   | 3 利用者の1/3くらいが |
|    |   |   | 4 ほとんどいない     |
| 60 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。<br>(参考項目：49)                |   | 1 ほぼ全ての利用者が   |
|    |   |   | 2 利用者の2/3くらいが |
|    |   | ○ | 3 利用者の1/3くらいが |
|    |   |   | 4 ほとんどいない     |

|    |  |   |               |
|----|--|---|---------------|
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。<br>(参考項目：30, 31)                         | ○ | 1 ほぼ全ての利用者が   |
|    |  |   | 2 利用者の2/3くらいが |
|    |  |   | 3 利用者の1/3くらいが |
|    |  |   | 4 ほとんどいない     |
| 62 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。<br>(参考項目：28)                     | ○ | 1 ほぼ全ての利用者が   |
|    |  |   | 2 利用者の2/3くらいが |
|    |  |   | 3 利用者の1/3くらいが |
|    |  |   | 4 ほとんどいない     |
| 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。<br>(参考項目：9, 10, 19)   | ○ | 1 ほぼ全ての家族と    |
|    |  |   | 2 家族の2/3くらいと  |
|    |  |   | 3 家族の1/3くらいと  |
|    |  |   | 4 ほとんどできていない  |
| 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。<br>(参考項目：9, 10, 19)                  | ○ | 1 ほぼ毎日のように    |
|    |  |   | 2 数日に1回程度ある   |
|    |  |   | 3 たまに         |
|    |  |   | 4 ほとんどない      |
| 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。<br>(参考項目：4) | ○ | 1 大いに増えている    |
|    |  |   | 2 少しずつ増えている   |
|    |  |   | 3 あまり増えていない   |
|    |  |   | 4 全くいない       |

|    |                                    |   |               |
|----|------------------------------------|---|---------------|
| 66 | 職員は、生き活きと働いている。<br>(参考項目：11, 12)   |   | 1 ほぼ全ての職員が    |
|    |                                    | ○ | 2 職員の2/3くらいが  |
|    |                                    |   | 3 職員の1/3くらいが  |
|    |                                    |   | 4 ほとんどいない     |
| 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。     |   | 1 ほぼ全ての利用者が   |
|    |                                    | ○ | 2 利用者の2/3くらいが |
|    |                                    |   | 3 利用者の1/3くらいが |
|    |                                    |   | 4 ほとんどいない     |
| 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。 |   | 1 ほぼ全ての家族等が   |
|    |                                    | ○ | 2 家族等の2/3くらいが |
|    |                                    |   | 3 家族等の1/3くらいが |
|    |                                    |   | 4 ほとんどいない     |